

重要港湾 宮古港

藤原ふ頭の概要



三陸復興



岩手県沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター

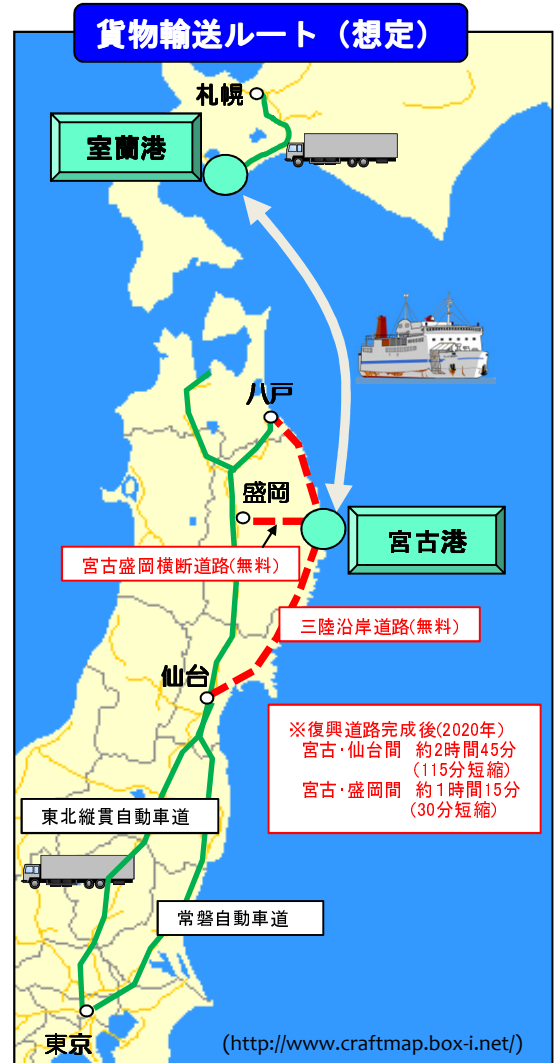
1. フェリー航路について

(1) 航路の概要

- ◆ 運航会社 川崎近海汽船株式会社
 - ◆ 航路 宮古港～室蘭港 (333.4km)
 - ◆ 開設日 平成30年6月22日
 - ◆ 運航計画 1日1往復
(日曜日の室蘭発及び月曜日の八戸発・宮古発は毎週運休)
- 南下便 室蘭発 20:50 ⇒ 八戸着 翌日03:30
八戸発 04:00 ⇒ 宮古着 07:55
北上便 宮古発 09:25 ⇒ 室蘭着 19:25
※北上便は宮古出港後、八戸へ寄港せず室蘭入港

(2) 航路が選定された理由

- ① 復興道路等の整備により県内各地や仙台圏、首都圏への**アクセスが大幅に向上**
- ② 高速料金が無料(東和～花巻間を除く)で東北縦貫道系経由より**輸送コストが安価**
- ③ 三陸沿岸道路沿線地域は積雪量が少なく**冬期の安定的な輸送が可能**
- ④ 宮古市は三陸沿岸道路と宮古盛岡横断道路の**2本の軸の結節点**
- ⑤ 船上で移動中(約10時間)に**トラックドライバーの休憩時間を確保**



(3) 使用船舶

- ◆ 名称 / シルバークイーン
- ◆ 総トン数 / 7,005t ◆ 航海速力 / 20.7ノット
- ◆ 車両積載能力 / トラック69台、乗用車20台
- ◆ 最大搭載旅客定員 / 600名



(4) 運賃(宮古～室蘭間)

■旅客運賃(片道・税込)

	大人	小人	学生
特等	15,000円	7,500円	大人と同じ
1等	12,000円	6,000円	大人と同じ
2等寝台	8,000円	4,000円	6,800円
2等	6,000円	3,000円	4,800円

■オートバイ・自転車運賃(片道・税込)

	125cc以下	125cc超過	750cc以上
自転車	2,600円	5,200円	9,400円

■乗用車運賃(片道・税込)

4m未満	5m未満	6m未満
20,800円	26,000円	31,200円

※運転者1名分の2等運賃を含む

※特等・1等・2等寝台を使用する場合は2等運賃との差額を加算

■トラック運賃(片道・税込)

11m以上12m未満	69,700円
------------	---------

※運転者1名分の2等運賃を含む

※燃料油価格の変動に応じ、燃料調整率を別途加算

2. 宮古港フェリーターミナルビルについて

(1) 施設のコンセプト

- ◆ フェリーによる港湾利用拡大や観光、地域の賑わいの拠点として整備。
バリアフリーに配慮した利便性の高い「フェリーターミナル機能」と、津波襲来時の「避難機能」を併せ持つ施設。
- ◆ 建物の外観は、コンクリートに囲まれた無機質な空間に映えるベージュ系の配色とし、「さざなみ」を表現する縦リブ外壁材や「水面のきらめき」を表現するメタリック塗装材を用いることにより、「太平洋から昇る朝日を受けて輝く宮古湾の波」を表現。

(2) 施設の概要

- ◆ 鉄骨造3階建て
 - ◆ 延床面積 2,160㎡
 - 【1階】 玄関ホール、指定管理者事務室(宮古市)、倉庫、給湯室等
 - 【2階】 搭乗口、受付、待合室、売店、厨房、船社事務室等
 - 【3階】 ホール、会議室、防災倉庫等
 - 【屋上】 津波避難スペース
- フェリー利用者や港湾関係者等が津波襲来時に逃げ遅れた場合の一時避難場所であり、東日本大震災津波の津波浸水シミュレーションで、3階以上は浸水しない高さを確保。
- ◆ 駐車場 221台〔大型車67台、普通車154台（うち身障者用2台）〕
 - ◆ 完成年月日 平成30年6月1日

(3) 事業費

- ◆ 約13.5億円（内訳:ビル建築等 約8.6億円、人道橋 約1.7億円、その他関連整備 約3.2億円）



外観写真(陸側)



外観写真(海側)

